

令和6年度 信学会長野北幼稚園園 「園の自己評価」

1 園の教育目標

「 あそびにトライ まなびにトライ 」

2 令和6年度の重点目標

- (1) 好奇心いっぱいに取り組む子
- (2) よく遊び生きる力を育む子
- (3) 思いやりのあるやさしい子

3 自己評価

A…十分達成されていると思う

B…達成されていると思う

C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う

D…取り組みが不十分であると思う

項 目	自己評価内容	評 価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 本年度の取り組み及び来年度への方向

- ・ 保護者の方々も園の教育方針に賛同していただき子ども達の「やりたい」を一緒に応援していただき 保育を進めていく上でとてもありがたい。そのために 子ども達も職員も 活動をとことん思う存分に進めていくことができる環境が整い 日々保育に励めた。
- ・ 研修に関しても園内にとどまらず 積極的に他の研修にも職員は参加し研鑽を積み重ね 保育の視野を広げつつある。今の保育に満足せず 子ども達に何が良いのかを 今後も模索し研修を重ねていきたい。
- ・ 地域の方々とも 園行事等に参加していただき 日頃の様子をご覧いただき オープンにしてきた。そのため 様々なことにご理解ご協力を頂き 環境面も整えていただき保育に生かされている。
- ・ 「子どもたちの主体」を考えながらも 新しいことにも挑戦し 子ども達も 園に係っていただける方々にとっても よりよい場になる様にしていきたい。
- ・ 職員も自己研鑽に励み今に満足することなく理想に向かっていける環境を より整えていきたい。